

木幡駅周辺地区交通バリアフリー基本構想（素案）に関するパブリックコメントの意見概要および市の考え方について

1. 提出された意見

【提出者数】 33人（市民の声投書箱：7人、郵便：6人、FAX：18人、Email：2人）

【意見総数】 156件

2. 意見の概要及び宇治市の考え方

No	意見の概要（意見総数）	宇治市の考え方	素案への反映
【基本構想(素案)全体に関する意見】(16件) (木幡駅周辺地区交通バリアフリー基本構想(素案)を以下、「基本構想(素案)」という。)			
1	基本構想をぜひ実現してください。(5)	<p>基本構想（素案）では、バリアフリー化事業の整備目標年度を原則平成32年度としていますが、地域の抱える課題は多様であり、限られた期間でバリアフリー化に関する全ての課題を解決することは困難です。そこで、基本構想（素案）では、事業計画を短期、中長期に分類したところからです。引き続き、関係機関と協議を行っていくとともに、できることから事業を進めていきたいと考えております。</p> <p>なお、ご意見を踏まえ、本編23ページの(1)道路のバリアフリー化事業に係る考え方に、「できることから取り組む」という表現を加えます。</p>	あり
2	安心して歩けるよう歩道の整備に期待しております。(4)		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になっても障害があっても行きたい場所へ行く権利があり、それを可能にするのが公共交通機関であるとの責任感と誇りをもって、鉄道事業者には、駅バリアフリー化に取り組んでほしい。(1) ・利用者の利便に神経を使った企業活動に目を向けてほしい。(1) 		
4	基本構想素案の実現は、困難なことは理解できるものの、少しずつでも改善・改修に手掛けてほしい。(1)		
5	JR木幡駅ならびに周辺環境の改良改善は一朝一夕にはいかない。長期間にわたり、逐次改良事業を進めていくことが必要である。(1)		
6	一日も早く改善してください。(1)		
7	お年寄りが動きやすい条件を整えること。医療費対策にもなると思っています。(1)		

8	小さな子供たちや、小学生・中学生の施設にもこの構想をお知らせしてください。(1)	基本構想(素案)につきましては、木幡駅周辺の保育所や中学校等にお知らせするとともに、公共施設、郵便局、並びに木幡駅周辺地区の集会所にも市民意見募集の冊子を配架し、周知に取り組みました。	なし
【JR木幡駅に関する意見】(93件)			
9	JR木幡駅にエレベーターを設置してほしい。(20)	<p>いただきましたご意見につきましては、基本構想(素案)のバリアフリー化事業計画の中で、「移動円滑化された経路の整備」、「移動円滑化経路上の上屋の設置」、「多機能トイレの設置」や「音声案内、サインの整備」として、平成32年度までに取り組む短期事業として位置付けています。</p> <p>今後、関係機関と連携してバリアフリー新法に基づき整備に取り組めます。</p> <p>また、現在、駅舎に待合スペースが設けられており、バリアフリー新法の基準を一定満たしておりますが、プラットホームへの待合室やベンチの増設についてのご意見につきましては、駅のさらなる利便性向上の観点から、西日本旅客鉄道株式会社へお伝えいたします。</p>	なし
10	JR木幡駅の跨線橋について(15) ・屋根を設置してほしい。 ・手すりを設置してほしい。 ・屋根のある跨線橋を新設してほしい。		
11	プラットホームについて(13) ・屋根が跨線橋まで続くようにできるだけ長くつけてください。 ・待合室を作ってください。 ・ベンチの数を増やしてください。 ・全面的に屋根を設置してほしい。 ・待ち合わせ場所の拡大。		
12	出発時刻・ホームがわかる電光掲示板を設置してほしい。(7)		
13	トイレについて(7) ・音声案内を備えたもの ・多機能トイレを設置してほしい。		
14	JR木幡駅改札口について(9) ・段差を解消してほしい。 ・もっと広げることができるではありませんか。 ・手すりのついたスロープを設置してください。		

15	<p>ＪＲ木幡駅の東側に改札口を新設してください。(2 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気で長距離歩行や重量物の運搬を禁止されております。東側からぐるっと回るのは遠過ぎます。 ・東側に改札があれば大変便利です。列車が来ているのに遮断機がありてしまって発車まで十分に時間があるにもかかわらず、乗り損なうことは数知れずです。 ・お年寄りやベビーカーの赤ちゃんには西側改札口だけでは不便です。嵯峨野線千代川駅では片方の側だけ小さな建物に自動改札とインターホンがあります。送り迎えの車の問題は、住民に協力してもらうように説得したらどうでしょうか。 ・ＪＲ木幡駅の東側に住んでいる人の多さから考えると東口新設も必要ではないでしょうか。 ・費用面で２番ホーム専用の改札（東側に改札）を新設する方がコストが低いか検討をお願いしたい。 ・片側にだけ改札口がある駅の場合、何か起きたとき、どのように避難をするのか不安です。避難の方法をきちんとしておいてください。 ・遮断機の閉まっている時間が長すぎます。 ・利便性の向上だけでなく、踏切の安全対策にもなり、東側住民の障害をもっておられる方や高齢者の方たちの「移動しやすいまちづくり」にもなります。 ・東西に改札を設置すれば、エレベーターや跨線橋を設置する必要がありません。京阪木幡駅のようにしてほしい。 ・京阪木幡駅のようにできるはずだと考えます。 ・ＪＲ木幡駅を宇治駅のように橋上駅に作り替えていただき、東側・西側両方に改札口を設置してください。 ・緊急時のインターホンの設置 	<p>ＪＲ木幡駅の東口改札の設置につきましては、これまでからご要望を頂いておりますが、本市といたしましては、宇治市交通バリアフリー全体構想に基づいて、市内の駅のバリアフリー化を進めていくことを最重要課題と考えております。このため、バリアフリー新法に基づいた基本構想の策定を進めており、この基本構想に基づいてＪＲ木幡駅のバリアフリー化が実現いたしますと、駅の利便性が向上するものと考えております。</p> <p>ご意見にあります東口改札の設置につきましては、バリアフリー新法の枠組みでの対応とはならないことから、実現は困難であると考えておりますが、いただきましたご意見につきましては、今後の木幡駅周辺地区のまちづくりの中で参考にさせていただきます。</p> <p>なお、緊急時の対応についてのご意見につきましては、西日本旅客鉄道株式会社へお伝えいたします。</p>	なし
----	---	---	----

16	<p>宇治方面行きホームと京都方面行きホームが到着する列車によって変わるので困ります。どちらかに決めてもらう等、乗りやすいようにしてほしい。(1)</p>	<p>現在、JR木幡駅では、跨線橋のバリアフリー化ができていないことから、地域からの要望もふまえ、可能な範囲で1番線から乗降いただけるように列車の発着を工夫されていると聞いております。今後、基本構想(素案)のとおりJR木幡駅のバリアフリー化が実施されれば、JR奈良線の高速化・複線化第2期事業に伴い、いただきましたご意見につきましては、解消されるものと考えております。</p>	なし
【道路に関する意見】(38件)			
17	<p>木幡踏切について(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR木幡駅東側地域の開発がすごく、人口が急増していることを考え、木幡踏切の安全対策が必要と思います。 ・木幡駅の停車位置の関係で、列車が通過しないのに遮断機が下りることは至急に改善してほしいです。長時間踏切が閉まるのは、交通混乱のもとで、歩行者、車ともに危険だと思います。 	<p>木幡踏切につきましては、京都府事業として踏切拡幅及び両側歩道の設置を平成24年になされたところであります。踏切の安全対策及び遮断時間に関するご意見につきましては、西日本旅客鉄道株式会社へお伝えいたします。</p>	なし
18	<p>JR木幡駅前広場について(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎者の車が多く、駅利用者の安全対策が必要なため、駅前広場の整備が必要。 ・車止めを設置してほしい。 ・駐車スペースを増やしてほしい。 	<p>駅前広場の整備につきましては、今回の基本構想(素案)では、バリアフリー化事業の対象となりませんが、いただきましたご意見につきましては、西日本旅客鉄道株式会社にもお伝えするとともに、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>	なし
19	<p>府道京都宇治線について(2)</p> <p>六地蔵町並交差点から木幡交差点までの間で歩道が整備されていない箇所があります。通学路でもあり、市として府に対して要望し、改善してください。</p>	<p>基本構想(素案)では、重点整備地区内の生活関連経路以外の府道や市道についても、他の事業や維持管理を行う中で、可能な限り、バリアフリー化を図るよう努め、今後も歩行者の安全対策等に取り組むとしております。</p> <p>京都宇治線の歩道整備については、現在、京都府において、五ヶ庄地区において事業実施中であり、木幡地区に関するご意見につきましては、関係機関へ要望してまいります。</p>	なし

20	<p>市道南山畑中村線について（４）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踏切の拡幅 ・市道南山畑中村線と府道京都宇治線の交差点では、多くの子供が通学のために信号待ちをしているが、スペースも少なく、また溝に蓋がないため、端を歩けない。事故が起こる前に次の提案を早急に検討いただきたい。 側溝に蓋をつけ、端を歩けるようにしてほしい。 路側線に沿ってガードレールを設置し、歩行者を保護してほしい。 府道から市道へ侵入してくる車両のスピードを落とす対策をお願いしたい。 	<p>当該箇所につきましては、早期に実施可能な安全対策として、宇治市通学路交通安全プログラムに基づき、平成２７年１２月に路側帯の整備及び路側帯内のカラー化を行ったところです。</p> <p>基本構想（素案）では、重点整備地区内の生活関連経路以外の府道や市道については、他の事業や維持管理を行う中で、可能な限り、バリアフリー化を図るよう努め、今後も歩行者の安全対策等に取り組むこととしており、いただきましたご意見につきましては、今後の道路整備の参考にさせていただきます。</p>	なし
21	<p>市道五ヶ庄六地蔵線について（９）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・願行寺前の側溝に蓋をしてほしい。 ・道路の拡幅。車の交通量も多く歩道整備も不十分。 ・側溝蓋や路面の舗装を滑らかにしてほしい。 ・一方通行にできないでしょうか。 ・道幅が狭く、代わりに木幡緑道を利用しているがもっと明るくして。 ・交通量も多く、歩行者のすぐ横をスピードを出して通過する車両もある。通学路として多くの子供が歩いており、事故が起こる前に次の提案を検討いただきたい。 緑のカラー舗装や白線を高視認性区画線（リブ式）にして、車が注意するような処置をしていただきたい。 「ゾーン３０」に指定するなど、車の速度制限を強化していただきたい。 	<p>基本構想（素案）において、市道五ヶ庄六地蔵線のバリアフリー化事業計画では、「歩行者安全対策の検討（路側帯のカラー化等）」としております。</p> <p>いただきましたご意見もふまえ、歩行者への安全対策を検討していきたいと考えております。</p> <p>なお、タウンウォッチングにおいても、路面の補修や側溝蓋の修繕、路側帯の引き直し等のご意見をいただいております。</p>	なし
22	<p>市道木幡41号線について（３）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両側に歩道が整備されているが、幅員が狭いため、生徒の登下校時に通行が困難になります。片側に寄せ広い歩道にする等の改修が必要と思います。 ・京阪電気鉄道株式会社の線路幅が広いので、１mほど狭めることができる。狭めて余った用地を宇治市へ寄付していただき、道路西側に広い歩道を設置する。 ・安全対策として、街灯をもっと明るくする。 	<p>基本構想（素案）において、市道木幡４１号線のバリアフリー化事業計画では、「歩道改良の検討」、「連続した視覚障害者用誘導ブロックの設置」としております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>	なし

23	<p>市道大瀬戸熊小路線について（１３）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道を設置してほしい。 ・ＪＲ木幡駅と京阪木幡駅の間に道路幅が狭い箇所があり、歩行者・車ともに危険な状態。 ・歩道を設置することが困難であるなら、次の提案を検討いただきたい。 公園の対岸側の溝蓋を平坦にして、歩行者用に白線もしくは緑線を入れてほしい。 公園前の幅員が前後の幅員と比べて狭いので、公園をセットバックすれば、歩行者用の白線が引けるのではないか。 歩行者優先の道路とし、幅員が狭い箇所の前後に信号を設置し、車を交互交通にすることはできないだろうか。 もっとも良いのは、全線にわたり同じ幅員を確保することであるが、高齢者や障害のある人が安全に行き来できるようにできることから早急に検討してください。 	<p>基本構想（素案）において、市道大瀬戸熊小路線のバリアフリー化事業計画では、「歩行者の安全対策の検討（歩道整備、路側帯のカラー化等）」としております。 歩道が未設置である区間については、路側帯のカラー化などによる歩行者の安全対策を検討するとともに、特にＪＲ木幡駅から京阪木幡駅間の道路については、事業の実現可能性や市の財政状況をかんがみながら歩道整備についても検討を進めていきたいと考えております。</p> <p>なお、ご意見を踏まえ、本編２３ページの（１）道路のバリアフリー化事業に係る考え方に、「できることから取り組む」という表現を加えます。</p>	あり
24	<p>昔ながらの形状であり、物理的にも拡幅は困難であるが、特に障害者に配慮した改善は、喫緊の課題である。車両等の一部制限を行うことも一つの方法と考える。（１）</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、歩行者への安全対策の１つの手法として、今後の安全対策の参考にさせていただきます。</p>	なし
【その他の意見】（９件）			
25	<p>御陵坂踏切の南東側の線路沿いの道を安全に歩けるように整備していただきたいです。（１）</p>	<p>ご要望いただきました箇所につきましては、ＪＲ奈良線の高速化・複線化第２期事業の中で、歩行空間の確保に向け、西日本旅客鉄道株式会社と協議を行ってまいりたいと考えております。</p>	なし
26	<p>生活踏切について（３）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活踏切を安全な踏切にして残し生かしてください。東西地域の生活圏は一つで人の往来が多く踏切は絶対必要なものです。今あるすべての生活踏切でなくてもよいので、何個か是非整備していただき、安全に渡れるようにしてください。 ・東西への移動のため、里道に踏切を設置し、道路として整備するだけでも市道大瀬戸熊小路線の交通量を減らせる。 	<p>ご意見の生活踏切につきましては、法律上、新たに踏切を設置することができないことに加え、ＪＲ奈良線の高速化・複線化第２期事業により、これまで以上に危険が増加することから、封鎖を行う予定としております。 したがって、安全に渡っていただける警報機等の踏切安全設備が設置されている踏切を通行いただきたいと考えております。</p>	なし

27	<p>旧火薬庫引き込み線を道路に整備・活用（１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休化している引き込み線跡地を道路として整備し、府道京都宇治線に接続する。ＪＲとは立体交差の工事が必要となるが、この道路が造成されれば、市道大瀬戸熊小路線を補完し、自動車往来の混雑緩和に有用。 ・東宇治高校へ通う通学路として木幡緑道を指定し、引き込み線跡地を活用した立体交差道路の両側に歩行者専用道路を設け、高校生の安全通学に役立てる。 		
28	<p>木幡保育所入り口の変更と木幡踏切近辺の混雑解消（１）</p> <p>保育所の東側用地と公園を交換し、保育所の入り口を現公園側に変更する。交換した現保育所のガレージや入り口は、公園にする。</p>	<p>今回の取り組みは、バリアフリー新法に基づき、既存の駅や道路等のバリアフリー化に取り組んでいるところで、基本構想（素案）において、市道大瀬戸熊小路線のバリアフリー化事業計画では、「歩行者の安全対策の検討（歩道整備、路側帯のカラー化等）」としているところです。いただきましたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>	なし
29	<p>市道大瀬戸熊小路線への交通集中の改善策として、広域的な視点から、外環状線から木幡池あたりへのバイパス道路を整備など、京都市と連携して計画を考えていただきたい。（１）</p>		
30	<p>市道柿ノ木町花揃線について（１）</p> <p>北木幡踏切から西へ向かう南側に路側帯をひいていただきたい。通学路ですが何もなされていません。</p>	<p>市道柿ノ木町花揃線につきましては、道路幅員が狭いところについても、歩行者の安全対策として、過年度より北側に路側帯を設置してまいりましたが、道路幅員が狭いため、両側に路側帯を設けるのは困難な状況です。</p> <p>ご意見にあります市道は、基本構想（素案）の重点整備地区区域の対象ではありませんが、宇治市交通バリアフリー全体構想改訂版において、駅周辺地区以外の地域などの道路についても、歩道の整備や歩行者優先の道路整備などを推進するとしており、いただきましたご意見は、今後の安全対策の参考にさせていただきます。</p>	なし
31	<p>ＪＲ木幡駅間にちょっとした憩いの場所ができるといいです。今ある駅の南側の花が植えてあるところに屋根を付けてもらい、流行の「カフェ」みたいなものがＪＲと宇治市との共同でできたら良いと思います。（１）</p>	<p>今回の取り組みは、バリアフリー新法に基づき、既存の駅や道路等のバリアフリー化に取り組んでいるところです。いただきましたご意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>	なし